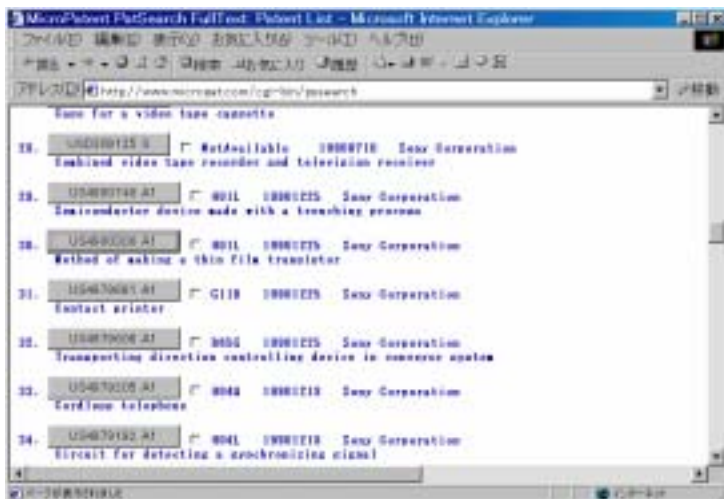


## 6.4 引用特許分析

Patent Web のデータを利用して対象特許が他の特許の審査の引用（引例）として利用されている状況を，出願人ごと，発行年ごとに集計した表として作成できます。やり方は，(1) 明細書の表示出力から行なう方法と，(2) 特許番号入力から行なう方法（52 頁）の二つがあります。

### (1) 明細書の表示出力を利用



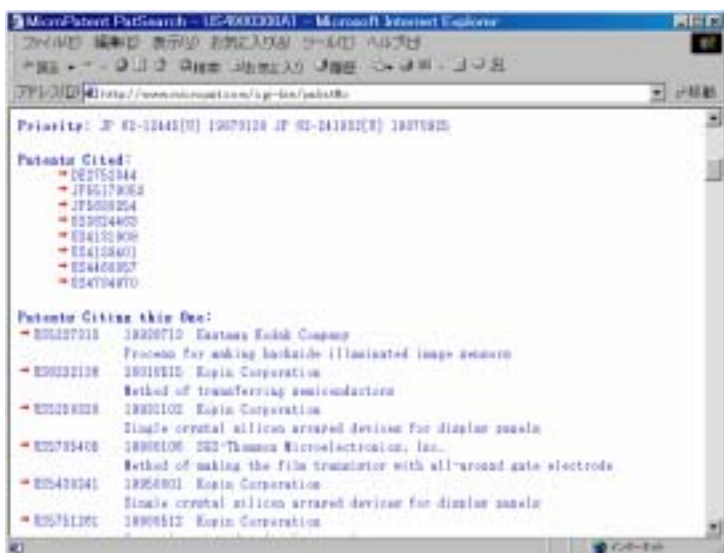
US P 明細書を表示させ，これを加工して，対象特許が他の特許の審査の引用（引例）として利用されている状況を分析表を作成します。

検索回答リストで，引用分析をしたい特許をクリックします。



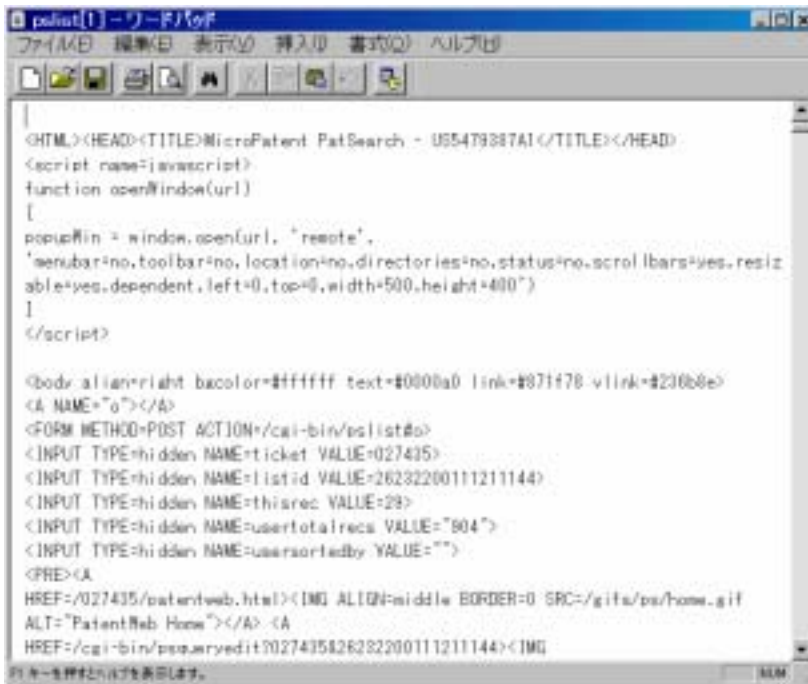
明細書のテキストデータが表示されます。

スクロールして下の方を見ると，この特許の審査で引用している特許が「Patent Cited」として，また，この特許を審査で引用している特許が「Patents Citing this One」として表示されています。



これから以降は2つのやり方があります。  
(1) S Gshot を立ち上げて [ IE/OK ] をクリックする。（49 頁以降に説明）  
(2) 上記が動かないとき，ソース表示して S Gshot を適用する。

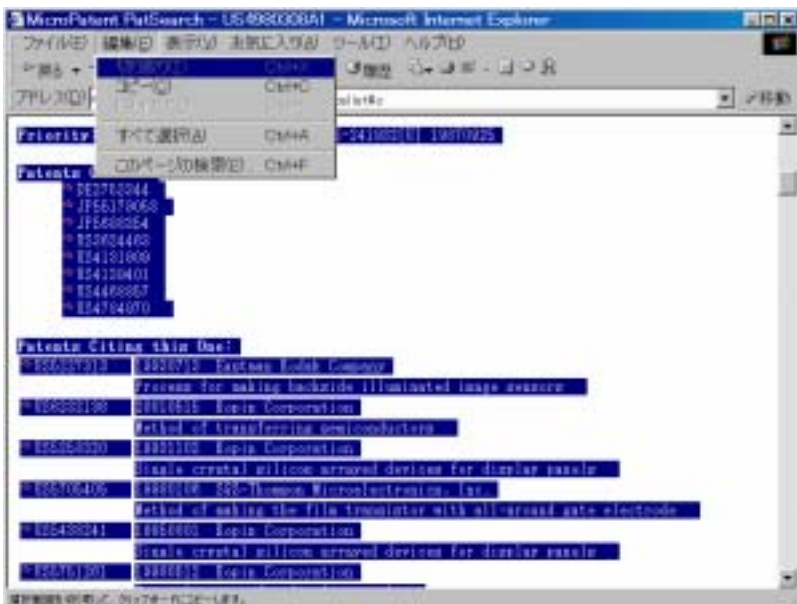
以下，(2)のやり方を説明します。  
まず，左画面で，[ 表示 ] - [ ソース ] をクリックしてください。



HTML文のソースデータが表示されます。



そこで、[編集] - [すべて選択] を選びます。



次に [コピー] を選びます。

(これで、ソース表示の内容がクリップボードにコピーされます。)



「SGshot」を立ち上げます。

明細書のデータを保存するフォルダを決めて、(ソース表示の場合は)次に[CB/OK]のボタンをクリックします。

ソース表示しない場合は,[IE/OK]をクリックします。

明細書データを保存するファイル名称の確認が表示されますので、必要があれば変更して[OK]をクリックします。



「処理の選択」で、大きく2つの選択ができます。

被引用回数・・・対象特許の被引用回数を表示します。(複数件を処理するとき、特に有益です。1件だけの処理では価値がお分かりいただけないと思います。)

HTML形式番号・・・分析表をHTML形式で作成します。分析表は、次頁に示すような引用特許の発行年ごとに、件数の多い出願人順に特許番号を並べたものです。

ここで、いくつかのオプションが選べます。

- ・高速処理・・・PatentWeb サーバからデータを取り出す処理を平行して高速に処理します。パソコンの環境によりこれが使えない場合はチェックを外す必要があります。
- ・出願人集計・・・このチェックを外すと、出願人ごとの集計が表示されず、発行年ごとの件数だけが見られます。
- ・蓄積データで同一出願人を判断・・・以下の分析の途中で、名称の似た出願人を同じとするかどうか問い合わせがありますが、これを保存しておいて、以後の分析でそれを使うかどうかの選択ができます。チェックを外せば、毎回の分析で、利用者が新たに、類似名称について判断をする必要があります。
- ・筆頭出願人のみ・・・出願人が複数いる特許で筆頭だけにするかどうかの選択が行えます。
- ・上位出願人・・・分析表に出す出願人の数を指定できます。
- ・Cited Patent コメント・・・対象特許の引用特許に出願人名を入力できます。普通は使う必要は少ないと思われます。( 詳細は、50 頁の 発展利用 )



・ファイル名・・・分析表の名称です。変更可能です。

・見出し・・・分析表の見出しです。変更可能です。

[OK]をクリックすると分析を始めます。

この分析途中で、左図のように同じ出願人としてよいかどうか、問い合わせのある場合



があります。それは、出願人名称の先頭1ワードが同じだが、それ以下が一致しない場合、聞いてくるものです。ここで下記の指示が利用できます。

以後、チェック不要・・・クリックすると、これ以降は出願人が類似かどうかの問い合わせをしない。

引用回数の変更に・・・クリックすると、出願人ごとの集計をやめる。

同じと認める・・・既にある名称の統一する。

こちらを新名称とする・・・新名称に統一する。

違う出願人とする・・・新しい名称を、新しい出願人として集計する。

注意事項；

- ・ 出願人がない個人出願の場合は「Not available」となり、違う人も一緒にまとめられる。
- ・ International Business Machines を I B M に統一など、若干の企業名を変更している。

出来上がった分析表（HTML形式表示）

横に発行年、縦に出願人となっており、該当の欄に特許番号を表示します。特許番号にはリンクが付いており、クリックするとUSPTOから明細書を表示できます。

表の上部には、対象の特許番号、権利社名、特許の名称および、この特許の審査で引用した番号(Cited Patent)が表示されています。

	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991
Micron Technol. Inc.		<a href="#">US0544446</a> <a href="#">US0544447</a>	<a href="#">US0551074</a> <a href="#">US0551075</a> <a href="#">US0551076</a> <a href="#">US0551077</a>						<a href="#">US0523210</a> <a href="#">US0523211</a>	<a href="#">US0523212</a> <a href="#">US0523213</a>	<a href="#">US0523214</a> <a href="#">US0523215</a>
Toshiba				<a href="#">US0502294</a> <a href="#">US0502295</a>	<a href="#">US0511723</a> <a href="#">US0511724</a>	<a href="#">US0511725</a> <a href="#">US0511726</a>					
Sony Corp.			<a href="#">US0484839</a> <a href="#">US0484840</a>	<a href="#">US0497273</a> <a href="#">US0497274</a>	<a href="#">US0497275</a> <a href="#">US0497276</a>						
NEC Corp.	<a href="#">US0442244</a>	<a href="#">US0451477</a> <a href="#">US0451478</a>			<a href="#">US0411111</a> <a href="#">US0411112</a>						
Goldstar Electron Co., Ltd.			<a href="#">US0484238</a> <a href="#">US0484239</a>	<a href="#">US0484240</a> <a href="#">US0484241</a>	<a href="#">US0484242</a> <a href="#">US0484243</a>						
Fujitsu									<a href="#">US0570622</a>	<a href="#">US0570623</a>	<a href="#">US0570624</a> <a href="#">US0570625</a>
Hitachi, Ltd.		<a href="#">US0481171</a>				<a href="#">US0482289</a> <a href="#">US0482290</a>	<a href="#">US0482291</a> <a href="#">US0482292</a>				
Mitsubishi Denki K.K.	<a href="#">US0448999</a> <a href="#">US0448999</a> <a href="#">US0448999</a> <a href="#">US0448999</a>	<a href="#">US0451749</a> <a href="#">US0451750</a>	<a href="#">US0451751</a> <a href="#">US0451752</a>		<a href="#">US0451753</a>						
SIEMENS				<a href="#">US0488243</a>	<a href="#">US0488244</a>	<a href="#">US0488245</a>			<a href="#">US0488246</a>		
United Micros. Corp.				<a href="#">US0484839</a> <a href="#">US0484840</a>							
Taiwan									<a href="#">US0570622</a> <a href="#">US0570623</a>		

**US PATENT & TRADEMARK OFFICE**  
PATENT FULL TEXT AND IMAGE DATABASE

United States Patent 5,045,802  
Class: September 8, 1992

Method of increasing the surface area of a mini-stacked capacitor

**Abstract**

A mini-stacked capacitor structure, developed for DRAM fabrication, is used to create a stacked capacitor by depositing multiple layers of dielectric over existing distal and word lines. The exposed top dielectric is then masked and etched away between two adjacent distal lines, the result is etched and subsequent etches (or etch removal) the remaining dielectric layers thereby exposing the underlying conductively doped diffusion region. The storage node poly is then deposited and patterned, followed by subsequent deposition of a self dielectric and cell plate poly. The selection of the number of dielectrics used and the time and/or sequence of dielectric etches used are the crux of the invention that substantially increases the surface area of a given

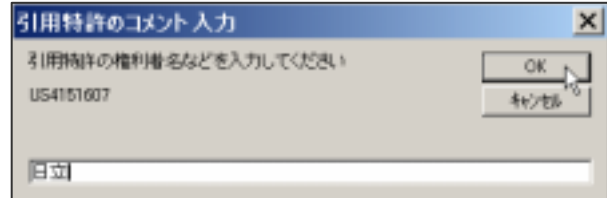
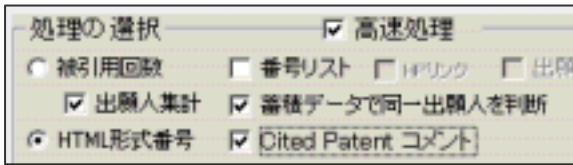
左図は、特許番号をクリックして、USPTO にリンクして、明細書を表示したものです。EP、PCT 特許などは Espacenet にリンクして表示します。

日本特許は USP 引例に書かれる番号フォーマットが一定していないので、注意が必要です。

## 発展利用

処理形式の問合せ画面で「Cited Patent コメント」にチェックを付けておくと、Cited Patent の処理の時点で問い合わせが表示され、事前に出席人名などを調べておけばそれらを入力できます。

(MicroPatent/PatentWeb の出力に、対象特許の引用特許 (Cited Patent) には出席人の名称が無いのでそれを手で追加入力するものです)



右上のような問い合わせが表示されるので、出席人名などを入力してください。

これを順次入力して完了すると、Cited Patent の後のカッコ内にその入力データが表示されます。

	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001
<b>Micron Technolo. Inc.</b>		<a href="#">US4904488</a> <a href="#">US5145881</a>	<a href="#">US5102284</a> <a href="#">US5205188</a> <a href="#">US5192782</a> <a href="#">US5172287</a> <a href="#">US5277224</a>					<a href="#">US5227323</a> <a href="#">US5688419</a>		<a href="#">US5284207</a> <a href="#">US5382562</a>	<a href="#">US6243811</a> <a href="#">US6122175</a>
<b>Toshiba</b>			<a href="#">US5302284</a> <a href="#">US5281837</a>	<a href="#">US5388752</a>	<a href="#">US5567311</a> <a href="#">US5885512</a>						
<b>Sony Coors.</b>			<a href="#">US5248823</a> <a href="#">US5888324</a>	<a href="#">US5478772</a> <a href="#">US5478773</a> <a href="#">US5488425</a>							

## 6.4 (2) 特許番号から行なう引用特許分析

US 特許番号を元にして、その特許がその後の審査に引用されている状況を分析できます。この方法では複数の特許番号を対象にすることができます。(なお、ここでは6.4(1)と異なる部分のみ説明します。)

```
Search scope: US Granted
Years: 1981-2006
Patent/Publication No.: ((US5001002)) or ((US5002003))
4 patents selected (of 4 matches).
1. US5006007 A F16D 19910409 Reliance Electric Industries
   Vibration-proof couplings
2. US5004005 A F16K 19910402 NotAvailable
   Combination valve
3. US5002003 A B63B 19910326 J & B Auto Matic, Inc.
   Boat mooring device
4. US5001002 A B05D 19910319 Hoechst Aktiengesellschaft
   Sheet-like structure consisting of a substrate and
```

```
US5001002 US5002003
US 5 0 0 4 0 0 5
US5006007 motor cooling
```

まず、特許番号リストをコピーしておき、SGshot を立ち上げ、[ C B / O K ] をクリックします。(SGshot を立ち上げ後、番号を入力することも出来ます。)

利用可能な特許番号リストは、Word や Excel に書かれたものや、Patent Web の検索後、[ Create Report - List ] や [ Create Report - Bibliographic ] 機能によるリストなど様々なものが利用できます。

番号は全角でもかまいません。番号だけでなく題名などを含んでもかまいません。ただし、US が先頭に付いていることが必須です。7桁の数字は全て対象の特許番号とみなされます。



SGshot の先頭画面で [ C B / O K ] をクリックすると「業務選択画面」が表示されますので、3 をクリックしてください。



「3. 被引用特許分析」の案内画面が表示されます。

「対象特許」欄に、コピーしておいた特許が切り出されていることを確認してください。なお、この欄で特許番号の入力や変更も可能です。

「入力データの選択」では、「番号入力」が自動的に選択されていますが、確認してください。

「処理の選択」では、「HTML 形式番号」と「被引用特許」を選択できます。

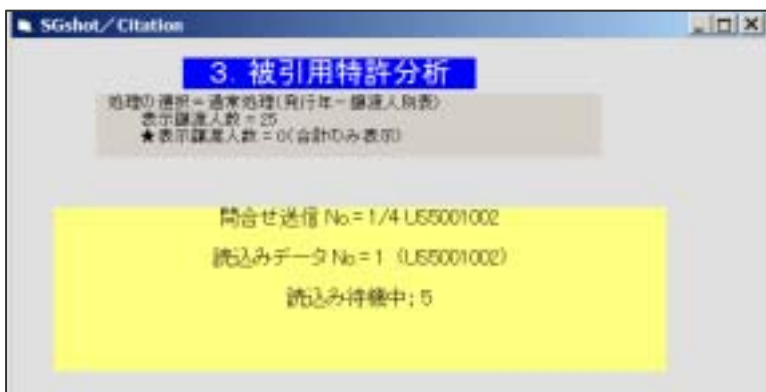
「HTML 形式番号」は、50 頁のような分析表を作成するもので、47 頁以降の(1)で詳しく説明してあります。

「被引用回数」は、入力した対象特許の被引用回数だけを調べるものです。多くの特許を対象に行うような場合に特に役立つと思われます。( 詳細は、54 頁 )

なお、コピーしておいた特許番号が 10 件以下ならば「HTML 形式番号」が選択されていますが、11 件以上の場合には「被引用回数」が選択されるようになっています。変更は可能です。

ファイル名称は、CT の後に先頭の特許番号を書いてあります。問題なければ、[ OK ] をクリックしてください。

Patent Web サーバからデータを読み込むために必要なユーザ ID とパスワードを、案内にそって入力してください。  
 なお、IP アドレス認証で Patent Web に接続可能な契約の場合はこの画面は出ません。



指定した特許番号の引用データを読み込む間、左のように進行状況が表示されます。

読み込み後に、同一出願人かどうかの判定などの部分は、47 頁以降の 6 . 4 ( 1 ) をご覧ください。

下図は分析の一例です。ある検索による 1990 年登録の 10 件の分析結果です。対象特許に 10 件の番号が表示され、/Cited Patent 以降にこれらの特許の審査で引用した特許の全体が書かれています。表内にはこれらの 10 件が引用されている特許が、発行年ごと、件数の多い出願人順にまとめられています。この表から例えば以下のことが分かります。

- 1992 ~ 1996 年頃までは Sharp の特許に数多く引用され、その後ほとんどなくなっています。
- 1997 年以降は Semicon. Energy Laboratory の特許に非常に多く引用されています。

ま  
て

対象特許	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	
<b>Semicond. Energy Laboratory</b>					US5210421			US5566147 US5570200 US5586463 US5595544 US5611997	US5174444 US5207420 US5310170 US5317346 US5318311	US5111779 US5125050 US5362174 US5370302 US5411441 US5425016 US5331174 US5370526 US5441199	US5311779 US5325050 US5362174 US5370302 US5411441 US5425016 US5331174 US5370526 US5441199	US5311779 US5325050 US5362174 US5370302 US5411441 US5425016 US5331174 US5370526 US5441199	US5311779 US5325050 US5362174 US5370302 US5411441 US5425016 US5331174 US5370526 US5441199	US5311779 US5325050 US5362174 US5370302 US5411441 US5425016 US5331174 US5370526 US5441199
<b>Hitachi, Ltd.</b>		US5064202 US5120030 US5120030	US5120030 US5120030	US5120030 US5120030	US5120030 US5120030	US5120030 US5120030	US5120030 US5120030	US5120030 US5120030	US5120030 US5120030	US5120030 US5120030	US5120030 US5120030	US5120030 US5120030	US5120030 US5120030	
<b>Sharp</b>			US5148000 US5252000 US5138000	US5148000 US5138000	US5148000 US5138000	US5148000 US5138000	US5148000 US5138000	US5148000 US5138000	US5148000 US5138000	US5148000 US5138000	US5148000 US5138000	US5148000 US5138000	US5148000 US5138000	
<b>Sony Corp.</b>		US5381002						US5381002		US5381002	US5381002	US5381002	US5381002	
<b>Matsushita Electric Industrial</b>		US5131000	US5131000	US5131000	US5131000	US5131000	US5131000	US5131000	US5131000	US5131000	US5131000	US5131000	US5131000	
<b>Canon</b>			US5251000			US5251000		US5251000				US5251000	US5251000	
<b>NEC Corp.</b>		US5120410 US5112000				US5120410 US5112000		US5120410 US5112000				US5120410 US5112000	US5120410 US5112000	



## 被引用回数の分析

「処理の選択」画面で「被引用回数」を選択すると、対象とする特許の被引用回数だけを調べることができます。これにより、例えば、ある会社のある年に登録された全USPの中で、被引用の多い特許をピックアップするようなことに利用可能です。

```
Search scope: US Granted
Years: 1981-2008
Assignee/Applicant: cisco Issue/Publication Date: 1999

50 patents selected (of 50 matches).

1. US6008805 A HD4L 19991228 Cisco Technology, Inc.
   Method and apparatus for providing multiple management interface
2. US6006268 A HD4L 19991221 Cisco Technology, Inc.
   Method and apparatus for reducing overhead on a proxied connecti
3. US6006110 A HD1Q 19991221 Cisco Technology, Inc.
   Wireless communication network using time-varying vector channel
4. US6004150 A HD1R 19991221 Cisco Technology, Inc.
   Configurable electrical shunt for a computer cable
5. US5989585 A HD4L 19991207 Cisco Technology, Inc.
   Data communication using a modifiable number of XDSL modems
```

検索して特許番号の集合を作ります。

この番号部分を含むようにマウスで選択して、コピーします。

SGshot を立ち上げ、[CB/OK] をクリックします。

業務選択画面で「3. 被引用特許分析」をクリックします。



11 件以上ですから、左画面の「処理の選択」では、自動的に「被引用回数」が選択されています。処理に当たっていくつかのオプションが選択できます。

番号リスト・・・被引用回数の多い順に HTML 形式の番号リストを作成します。

HP リンク・・・上記の表で特許番号は USPTO にハイパーリンクを付けられます。

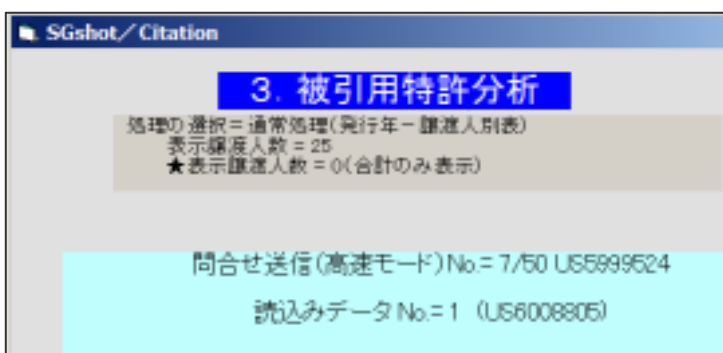
出願人・・・表に出願人を出すかどうか。

IPC・・・表に IPC をだすかどうか。

題名・・・表に各特許の題名をだすかどうか。

出願人集計・・・出願人ごとの集計をするかどうか。チェックすると 50 頁のような分析表も作成する。被

引用回数の分析では、最初、これにはチェックが付いていない。



左は 50 件中 7 件目の問い合わせを送信し、1 件のデータを読み込んでいるところです。

引用特許分析 (Forward Citation Data, patented in 1999)  
(2008-15-17) PatentWeb + SGshot V11.49

対象特許: [US6008805](#) [US6006268](#) ... [US5884542](#) [US5853650](#) (50件) / Cited Patent [US6067780](#) [US6171712](#) ... [US6044201](#) [US6040241](#)

	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
合計	10	111	184	239	228	257	232	140

注: 権利者名ごとの件数は集計してありません。

データ読み込みが終わり、分析が終わると、いくつかの表が表示されます。

左は発行年ごとの被引用件数です。



FFL3000 C:\Database\_DataPowerWeb\CTUS6008805-KS.htm

Forward Citation Data, patented in

特許番号	被引用件数	出願人	IPC	題名
<a href="#">US5817820</a>	95	Cisco Technology, Inc.		Efficient packet forwarding arrangement for routing packets in an internetwork
<a href="#">US5898687</a>	95	Cisco Systems, Inc.		Arbitration mechanism for a multicast logic engine of a switching fabric circuit
<a href="#">US5918019</a>	88	Cisco Technology, Inc.		Virtual dial-up protocol for network communication
<a href="#">US5905781</a>	78	Cisco Technology, Inc.		Communication server apparatus and method
<a href="#">US5872783</a>	78	Cisco Systems, Inc.		Arrangement for rendering forwarding decisions for packets transferred among network switches

左は、被引用回数の多い順に特許番号や題名などが HTML 形式で作成されたリストです。

CTUS6008805-K.csv [読み取り専用]

	A	B	C	D	E	F
1	被引用件数データ(入力順)		2006-05-17			
2	Forward Citation Data, patented in 1999					
3	特許番号	被引用件数	出願人	IPC	題名	
4	US6006805	53	Cisco Technology, Inc.		Method and apparatus for	
5	US6006268	32	Cisco Technology, Inc.		Method and apparatus for	
6	US6006110	27	Cisco Technology, Inc.		Wireless communication r	
7	US6004150	2	Cisco Technology, Inc.		Configurable electrical sh	
8	US5999565	24	Cisco Technology, Inc.		Data communication usin	
9	US5998540	16	Cisco Technology, Inc.		Rate adaptive XDSL com	
10	US5998524	8	Cisco Technology, Inc.		Dial access switching inte	

左は、番号順に特許番号や題名などが Excel 形式で作成されたリストです。

CTUS6008805-KS.csv [読み取り専用]

	A	B	C	D	E	F
1	被引用件数データ(件数ソート済み)		2006-05-17			
2	Forward Citation Data, patented in 1999					
3	特許番号	被引用件数	出願人	IPC	題名	
4	US5817820	95	Cisco Technology, In		Efficient packet forwardin	
5	US5898687	95	Cisco Systems, Inc.		Arbitration mechanism for	
6	US5918019	88	Cisco Technology, In		Virtual dial-up protocol fo	
7	US5905781	78	Cisco Technology, In		Communication server ap	
8	US5872783	78	Cisco Systems, Inc.		Arrangement for rendering	
9	US5959889	63	Cisco Technology, In		System for efficient multi	
10	US5864542	59	Cisco Technology, In		Scalable multimedia netwo	

左は、被引用回数の多い順に特許番号や題名などが Excel 形式で作成されたリストです。

## 6.5 ファミリー特許監視

Patent Web により番号指定で検索を行い、ファミリー特許番号を出力することで、特許の各国での公開、登録状況の監視を行うことができます。

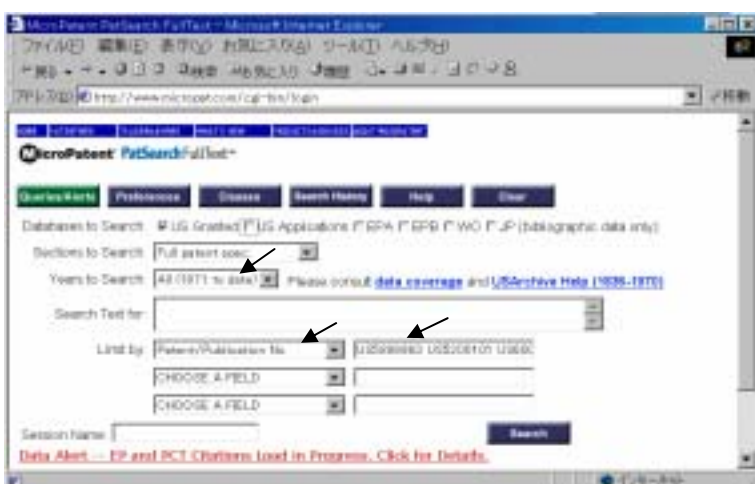
ところが、Patent Web の出力ではファミリー特許番号が並んでいるだけなので、ファミリー特許が多くなった場合や、監視をしたい特許が多くなった場合には、新しい番号を見つけるのは大変な作業になります。

[ SGshot ] では、Patent Web の出力データを前回の出力と比較処理して、新たな特許番号があった場合に、分かりやすい報告書を作成します。

まず、下記に例示するようなフォーマットでファミリー特許を監視したい番号などを記録したファイルを作成します。

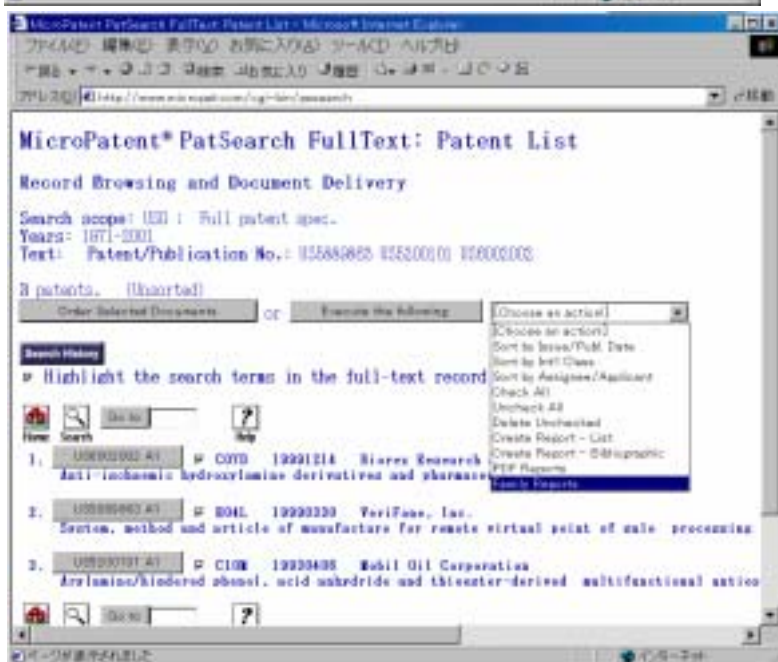
区切りは半角カンマです。 受付け番号, 特許番号, 依頼者名, 受付日など, Email 宛先 ~ までは、作成される報告書に記載されますが、はオペレータが報告書を送信するときに利用します。ファイルはテキスト形式とし、名称は何でも良いですが「Fam 監視台帳.txt」などが良いでしょう。

```
1,US5889883,特許1部 田中様,受付日:2001.10/18,tanaka@ipo1.aacorp.co.jp
2,US5200101,特許2部 山田様,受付日:2001.10/20,yamada@ipo2.aacorp.co.jp
3,US6002002,特許3部 ○○グループ 佐藤様,受付日:2001.12/15,sato@ipo3.aacorp.co.jp
```

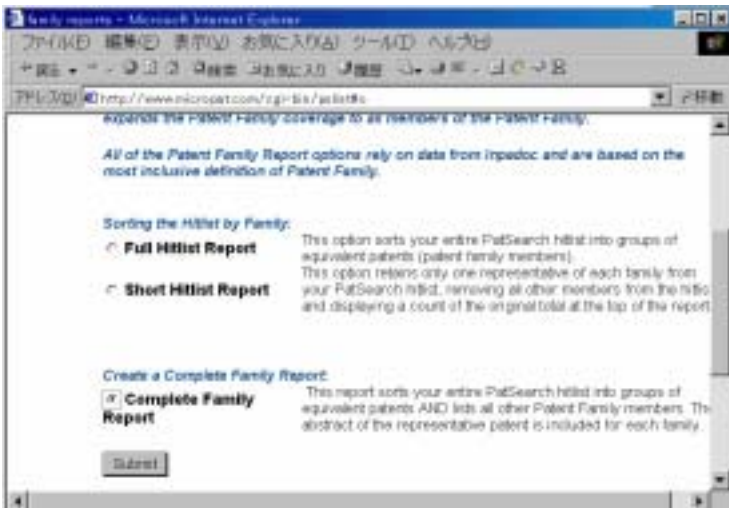


Patent Web につないで準備した特許番号で検索します。

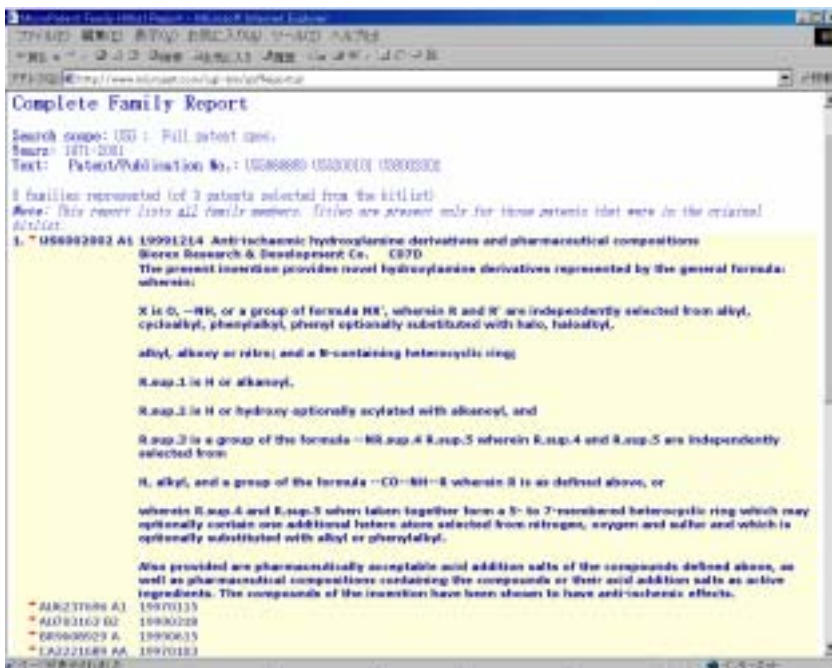
注。「Year to Search」は [ All ] にするなど、検索する特許番号を含む発行年にしておく必要があります。



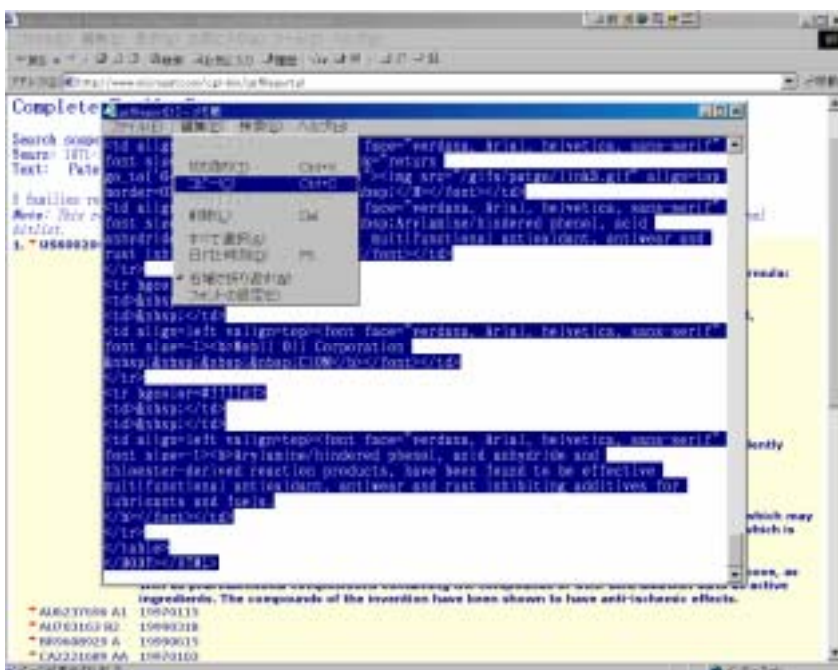
検索が済んで特許リストが表示されたら、全件を選択状態（ にチェックを付け ）にし、次に [Choose an action] で [Family Report] を指示し、 [Execute the following] で実行します。



ファミリー特許出力の内容を [ Complete Family Report ] と指示し, [ Submit ] をクリックします。



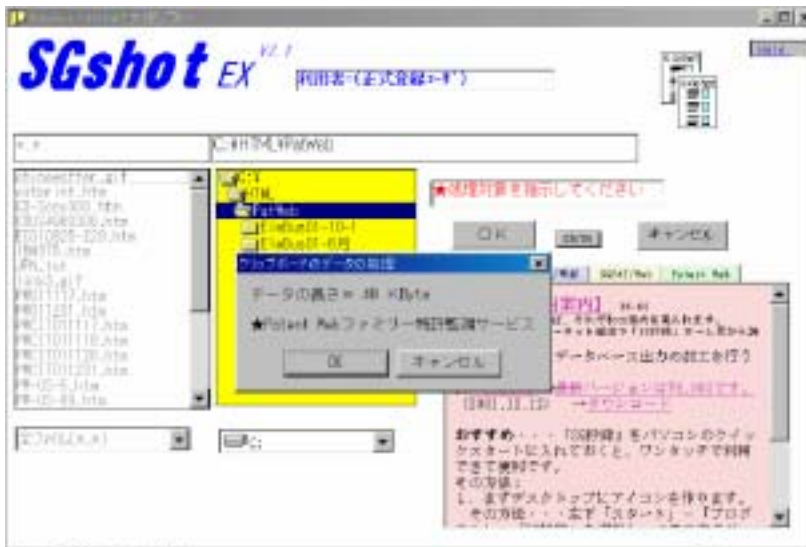
ファミリー特許監視の特許番号ごとに, その特許のファミリー特許番号が表示されます。



ツールバーの [ 表示 ] - [ ソース表示 ] でソースを表示させ, さらにその画面のツールバーの [ 編集 ] - [ すべて選択 ] とし, 続いて [ 編集 ] - [ コピー ] を選択します。

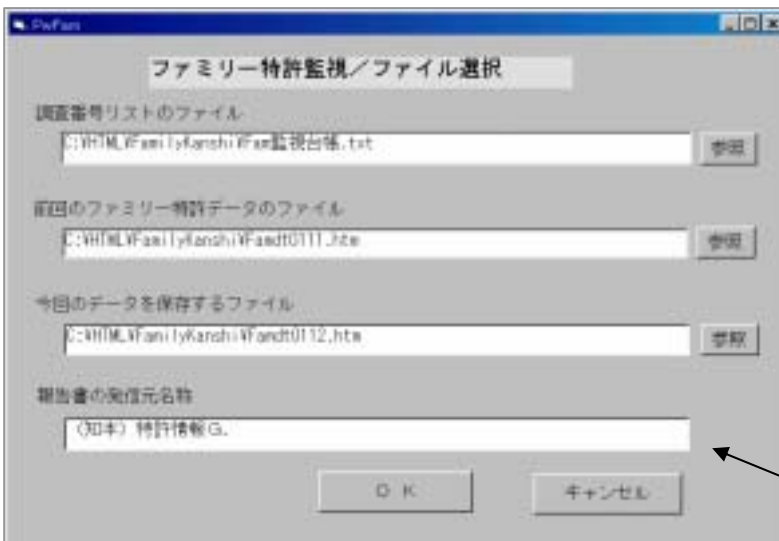
(これでソースデータがクリップボードにコピーされた状態になります)





次に「SGshot」を立上げ,[CB/OK]をクリックします。

「Patent Web ファミリー特許監視サービス」が表示されたら[OK]をクリックします。



「ファミリー特許監視/ファイル選択」で各種のファイル名などを指定します。

ファミリー特許監視の特許番号などのファイル

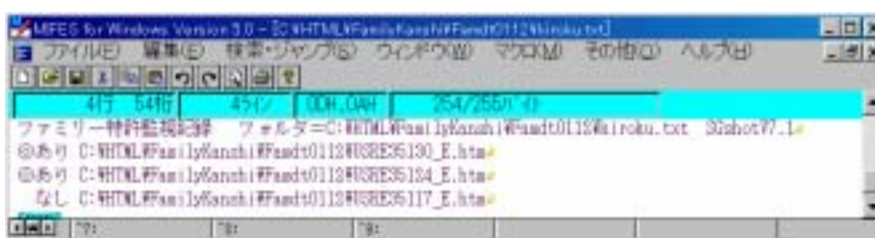
前回のファミリー特許出力データのファイル。(報告書ではない)

今回のファミリー特許出力データを入れるファイル。年月などを含んだ名称にするのが良い。次回はこれが前回のファイルになる。

作成される報告書に書かれる発信元の名称。



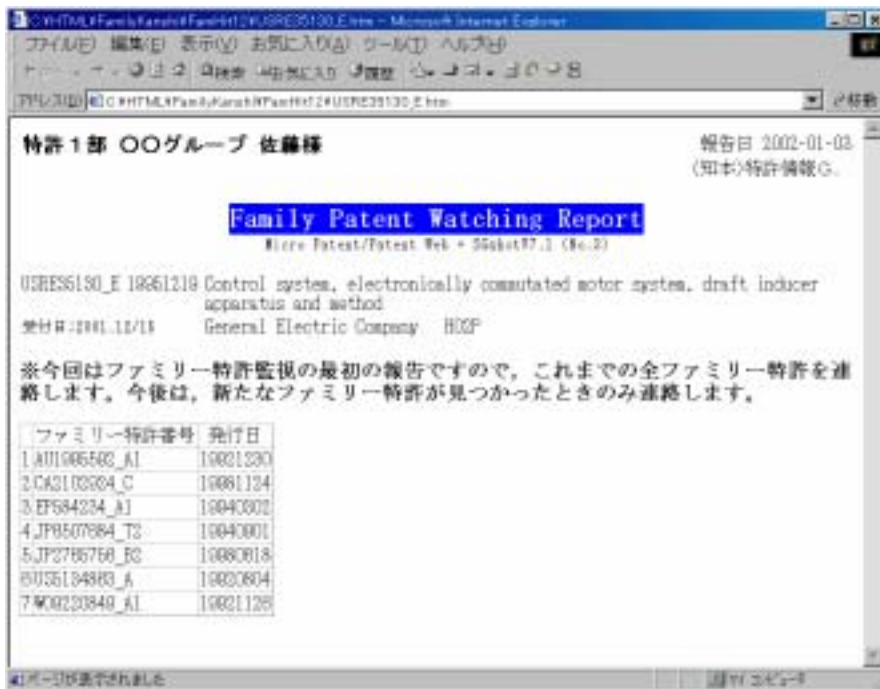
処理が終了したら「今回のデータを保存するファイル」の名称から拡張子を除いたフォルダが新たに作成され、そこにいくつかのファイルが作成されています。



kiroku.txt はファミリー特許監視を行った結果が記録されています。「あり」は新たなファミリー特許番号のあった

ものであり、報告書ファイルが作成されています。「なし」の特許はファイルは作成されません。





報告書ファイルは、HTML形式で作成されます。

上部に、ファミリー特許監視の特許が記載されます。

ファミリー特許監視を登録した最初のときはこのように、全ファミリー特許番号を記載した報告書が作られます。



2回目以降は、新しいファミリー特許番号が出たときのみ、その番号を大きく朱記した報告書が作られます。